

## 1 岡山の医学の歩みと岡大医学部150年の歴史

岡山では幕末に蘭法医学の先駆者緒方洪庵をはじめ、多くの先駆者を輩出し、医学の先進地として知られています。明治の曙とともに早くも明治3年（1870年）に、岡山藩は現・岡山市中区東山の操山の麓に医学館を設置して、医学生の教育を始め、「岡山藩医学館大病院」を併設しました。明治13年（1880年）には「岡山県医学校」として独立し、同16年には西日本最大の医院機関となりました。同21年に「第三高等学校中等医学部」に昇格し、さらに明治34年（1901年）に、「岡山医学専門学校」として独立しました。大正11年（1922年）には「岡山医科大学」に昇格しました。同時に岡山医学付属医院は「岡山医科大学属病院」と改称しました。そして第二次大戦後は総合大学岡山大学の一翼を担い岡山大学医学部として、規模も拡大して発展の一途を辿り、地域の医学の進展と社会貢献を行ってきました。令和2年（2020年）にはめでたく岡山大学医学部創立150周年を迎えられました。

150年の栄光と苦難の歴史には枚挙に暇がないほど傑出した医学人を輩出しています。例えば、岡山大学医学部の基礎を築いた岡山県病院初代院長生田安宅氏・日本で初めて「免疫」の用語を使用した矢部辰三郎氏・岡山孤児院を設立し孤児救済に尽力した石井十次氏・日本の医事雑誌発行の先駆者山谷徳治郎氏・日本初の相互保険会社第一生命の設立者矢野恒太氏・特効薬サルバルサンの発見者泰佐八郎氏・世界から「栄養学の父」と称されている佐伯矩氏等です。

## 2 SDGs（エス・ディー・ジーズ）の推進

岡山大学は榎野博史学長を先頭にSDGs（持続可能な開発目標—すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための目標）を推進しています。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指す活動をいい、17の目標があります。2030年に向けて世界が合意した各目標の達成に尽力しています。

## 3 お申し込み

下記申込書に氏名（3名まで）・住所、TEL・FAX・e-mail等をご記入の上、事務局宛 e-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。定員に達成次第締め切りとさせていただきます。

事務局：〒701-0204 岡山市南区大福415-14 事務局長 山田良三  
TEL 090-1033-3327（山田） 090-8600-6950（伊達） FAX 086-276-2241  
e-mail：rekiken.okayama@gmail.com

---

参加申込書 至 岡山歴史研究会事務局 山田宛  
フリガナ

氏名（参加者） 、 、 、（3名）

住 所  
〒

TEL ( ) FAX ( )

e-mail:

※ 個人情報は講演会開催目的にのみ使用します。